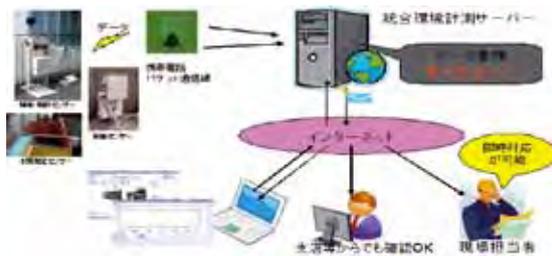


# 情報共有・見える化技術による 作業所支援情報システムの開発と適用

Development and application of construction site support information system using intelligence sharing and visualization technology

巽 研 関原 弦 小田 博志 山本 新吾 中島 佳奈子

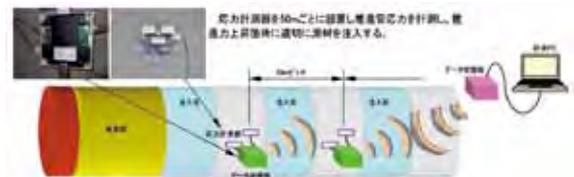
Ken TATSUMI, Yuzuru SEKIHARA, Hiroshi ODA, Shingo YAMAMOTO, Kanako NAKAJIMA



統合環境計測システム構成図



緊急地震速報の現場警報機



ワイヤレス計測システム構成



ポータブルWEBカメラ360

## 目的

最近の作業所支援情報システムにおいては、「情報共有」「見える化」というキーワードが特に多く聞かれるようになってきている。作業所における情報は作業所だけで管理するのではなく、本支店技術部などとも共有することで作業所支援を効率的に行うことが可能になる。また作業所で発生する騒音振動などの環境変動、施工の進捗に伴うわずかな挙動変位や通常見えない施工箇所などを、分かりやすく表示することで、品質向上や環境配慮への対応が可能になる。本稿では上記「情報共有」「見える化」技術による作業所支援情報システムを開発して現場へ適用した事例について報告する。

## 結論

本報告では「情報共有」「見える化」という視点で4つの適用事例を紹介した。現状においても一定の効果は検証できているが、作業所からはさらなる「安全」「品質向上」「省力化」への期待が大きい。

今後も上記期待に応えるべく、作業所支援情報システムの開発を継続していく予定であるが、課題はすべての作業所への普及・展開である。個々の作業所における個別のニーズによって開発されたシステムが、ほかの作業所にとっても有効であることは多い。開発対象とした作業所だけでなく、全店・全作業所への普及により「安全」「品質向上」「省力化」への効果がより大きくなると考えられる。